

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARK		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和8年1月23日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのやり取りをきめ細かく行い、その内容について職員間で共有する機会が設けられている	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時にその日の過ごしの様子や、体調等について細かくお伝えすることができている 面談時には直接支援職員からご家庭への質問事項を集め、その内容について共有する場を設けることができている 	<ul style="list-style-type: none"> 通所する児童の主年齢層が上がってきているため、現時点の課題だけでなく、自立を見据えた支援や、相談支援事業所との連携について強化していく 職員間での日々の共有内容については口頭で伝えることが主となっているため、重要事項については文章でまとめるなど、時系列に沿って見返せる仕組みをつくる
2	個別課題と集団活動を組み合わせた幅広い支援を提供することができている	<ul style="list-style-type: none"> 始業ミーティングにて児童の入室時間や活動内容、過ごす部屋、座席配置の調整を行っている 長期休み等には外出やイベント実施など普段と異なる活動を積極的に取り入れている ひとり一人に合わせた必要な支援の提供を心がけ、活動へ参加しやすい環境設定を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有を充実させ、状況に合わせた人間関係や課題について話し合い、支援の質を高められるようにする 定期面談時に子どもの同席を推奨していくことで、子ども自身が課題や目標を明確にし、目的意識を持った利用につなげていく
3	年齢や発達異なる子ども同士での関わりを持つことができる	<ul style="list-style-type: none"> 児童それぞれの強みや課題を明確にすることで相互理解を深め、思いやる気持ちを育てることができている 年齢に合わせた役割を提案することで、社会化に向けた取り組みを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動を軸に、様々な子どもと一緒に活動することで、関わる相手が固定化されないように配慮する 年齢に合わせた振る舞いを身につけられるよう、身の回りのことへの自立や他者視点を育てる支援を積極的に取り入れていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に実際の支援の様子や職員とのやり取りを見ていただく機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日に面談を実施する際には、見学を兼ねた実施ができているが、それ以外には行っていない 送迎時や連絡帳にて過ごし様子を伝えることが主であり、保護者にとって具体的なイメージを持ちづらい SNSを活用できておらず、PARK通信も行事ごとの発行となっており、発信頻度や機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサポート加算を活用し、保護者に支援の様子を見ていただける機会を設ける ブログやインスタグラムの稼働についてや、行事後には全体向けの通信だけでなく、個人へ写真の還元ができる仕組みをつくる
2	地域交流の場を設けられていない	<ul style="list-style-type: none"> 学校休校日に昼食購入としてコンビニ等を利用することや、公園遊び、図書館利用を行い、地域に出る機会はあるが、交流の機会として設けてはいない 授業日の外出が時間的に困難であるため、参加機会が少ない児童がいる 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に外出機会を設けることでより多くの児童が参加できるようにする 地域で催されるイベントの情報収集を行い、参加機会を検討する 利用児童が在籍する放課後児童クラブとの交流を検討する
3	保護者同士が交流する場を設けられていない	<ul style="list-style-type: none"> 保護者やきょうだいが参加できるイベント等を企画できていない 保護者からの個別相談に対応することはできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みは実施できていない 保護者同士の交流を求めている保護者もいる 	<ul style="list-style-type: none"> 任意参加のイベントや少人数での研修・情報提供の場を設けるなど、参加しやすい内容を検討する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 P A R K

公表日 令和8年3月23日

利用児童数 26

回収数 22

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	5%	0%	5%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	91%	5%	0%	5%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95%	0%	0%	5%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91%	5%	0%	5%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	よく考えられた個別支援計画と、他の子ども達と一緒に活動のバランスが良いと思っています。本人の性格等の特性もよく捉えられており、コンディションに応じた臨機応変な対応にも感謝しています。	ありがとうございます。今後、子どもたち自身にも分かりやすい計画となるよう、ブラッシュアップしてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95%	0%	0%	5%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91%	5%	0%	5%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	86%	9%	0%	5%	①季節毎のイベントをとでも楽しみにしています。毎年参加しても楽しかった！と帰ってきます。 ②いつもイベントなどの活動を楽しみにしています	ありがとうございます。今後も楽しんで参加してもらえるよう、様々なイベントを企画してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14%	9%	32%	45%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45%	9%	23%	23%	①面談時に相談やアドバイスの時間が十分にとられていると思います ②研修会等の機会があったら嬉しいです。	①ありがとうございます。今後もご家庭と連携した支援が行えるよう努めてまいります。 ②ご意見ありがとうございます。今後、実施について検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	95%	5%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5%	14%	55%	27%	①特に希望はありません。 ②保護者同士の交流は今現在無いです。	ご意見ありがとうございます。今後もニーズに合わせて、実施について検討してまいります。

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%	5%	0%	0%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77%	9%	0%	14%	ホームページでの発信は少ないと思います。	ご意見ありがとうございます。今後、SNSやブログ等の活用について検討してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	91%	0%	5%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	91%	5%	5%	0%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%	0%	0%	5%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%	5%	0%	5%	今まで大きなケガなどしたことがないので分かりません。	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者の方へ連絡させていただき、発生時の状況や、お子さまの様子等について報告させていただきます。必要に合わせて、早めにお送りすることや受診対応をとらせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	0%	0%	5%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	77%	18%	0%	5%	気分によってムラが大きく、行きたくない！と言う時もありますが、その時の気持ちに寄り添っていただいていると思います。	ありがとうございます。今後も丁寧な関わりをもとに、安心して通えるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	5%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		PARK		公表日 令和8年3月23日		
		チェック項目		はい	いいえ	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	国で定められている基準以上の職員を配置しております。	随時振り返りを行い、更に安心して過ごせる環境を整えてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	日々のタイムスケジュールを掲示する、床に印をつけて活動スペースを明確にする、といった配慮を行っております。また、階段には手すりを設置すると共に注意喚起の声掛けを行い、昇降時には、昇る際にはこどもの後ろに職員を配置、降りる際にはこどもの前に職員を配置し、転倒防止に努めております。	開所から数年経過しているため各劣化部分の点検等を実施し、安全について配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々の清掃を丁寧に行い、ドアノブなどが触れる部分や玩具はアルコール等での消毒を行っております。イベント時にはテーブルの配置を変更するなど、活動に合わせて物の数や配置を調整しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	コンディションに合わせて個別指導室を使用することや、1人用のデントを使用するなどクールダウンを行うなど状況に合わせて対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	始業ミーティングにおいて業務内容の確認、改善事項の抽出、対応の統一化などを全職員で協議、共有し業務改善を進めるためのPDCAサイクルに取り組んでおります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ご記入いただいた内容について職員で協議を行った上で具体的な改善策を検討、共有し、実行することで改善に努めております。今後も定期的に実施し、より良いサービス提供につなげていきたいと考えております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	始業ミーティング等にて挙げられた意見をもとに研修内容を設定するなど、支援の質向上や業務の効率化を踏まえた対応を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		今後、第三者評価の導入を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	各種マニュアルの周知や、障害特性・支援内容についての研修を定期的に繰り返し行うことで職員の理解を深めております。また、研修実施前には日々の過ごしの中から個々の課題を抽出し、研修内容に反映させることにより支援時の具体的な参考になるように意識した研修の組み立てを行っております。また、川口市主催の研修にも積極的に参加しております。	職員の習熟度に合わせて、障害特性や支援方法等についての研修について充実させられるよう、外部研修の受講を含め、機会の確保について調整していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	令和6年12月にホームページへの公表が完了しております。また、見学で来所された際には配布・説明を行い、内容の周知に努めております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	お問い合わせの際には、事業所内、支援の様子などを保護者の方に見学していただき、お話の時間を設け、お子さまの現在の状態について伺い、課題の抽出やニーズ把握のためのアセスメントを行っております。その後、お子さまに体験をしていただき、過ごし様子から、職員を含めた担当者会議を実施後、実際に即した個別支援計画（案）を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	日頃より職員全体でこどもの様子について共有を行っており、モニタリング実施月には、これまでの経過や現状について意見を集め、個別支援計画の見直しを行っております。	支援の質の向上を目指し、担当者会議の内容を洗練させ、計画の内容を日々の支援に反映させやすい形で周知等に取り組んでまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保護者より同意をいただいた個別支援計画をもとに、現在のご家庭や学校での取り組みや困りごとと共に個別支援計画の内容について共有する機会を定期的に設けております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	現在は、ツールを用いたアセスメントを使用していませんが、他機関での発達検査等の結果について共有させていただくことで、支援の参考にしております。また、日々の行動観察については職員間でこまめに共有を行いながらアセスメントに反映させております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」について、お子さまや保護者のニーズをもとに、5領域それぞれに合わせた具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	次月の利用状況等を鑑みたくて調整を行い、毎月の集団活動のプログラムを児童発達支援管理責任者が主となって作成し、季節の工作方案やイベントに向けた内容等の立案をチームで行っております。日々のタイムスケジュールについては子どもたちのその日の状況に応じて柔軟に対応しております。	子どもたちの成長に伴い、個別課題に取り組む時間と集団活動の時間のバランスや内容について、改善・改良を行っていきます。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	50%	50%	活動プログラムが固定化しないよう、こどもたちの過ごしの様子や、学校行事、月ごとの背景、特徴を捉えた上で、季節の工作や集団活動の内容の調整に努めております。	活動の参加状況やルール設定等についてフィードバックを行い、よりこどもたちの状況やテーマに合わせた内容になるよう、検討してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	保護者面談を通して、ご家庭や学校などの様子を共有し、課題抽出を行った上で、個々に合わせた個別・集団活動、家族支援、移行支援の方針を担当者会議で検討し、個別支援計画を作成しております。また、同意していただいた個別支援計画書を基に、日々のこどもたちとの関わりに反映させております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	前日や直近のこどもたちの様子や課題への取り組み状況の共有を行い、個々の背景を意識した上で、その日に担当する子どもと設定やリーダーを決め、支援の内容やタイムスケジュール、役割分担等について始業ミーティングにて確認をしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	支援終了後には、その日の過ごしの中での出来事や子ども同士の関わり等、気になる様子について情報共有を行い、気づき等について振り返る時間を設け、翌日以降の支援に繋げております。	長期休み中や、送迎時間の兼ね合いでその日の内に実施が難しい際には、翌日の支援前のミーティングにて振り返りの時間を設けております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	各職員がその日に担当したこどもについて、支援記録を作成しております。子どもの様子だけでなく、具体的なやり取りや、発言等も記録することにより、職員自身の支援を振り返る機会とし、支援の検証・改善につなげられるよう、努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	支援の経過や、ご家庭、学校等の様子について現在の状況を把握するために保護者面談、職員全体で協議、評価、修正などのモニタリングを少なくとも6か月に1回行い、現在のこどもの状態に即した課題、支援方針となるよう計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	こども1人ひとりの課題に沿った活動内容をガイドラインの4つの基本活動を基に個別・集団活動の中で複数組み合わせ支援を設定し、繰り返し調整を重ねていくと共に、こどもの権利や尊厳、心身の育ち、社会化を見据えた支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	個別課題についてはこどもが自己選択できるよう、複数種類の課題を用意しております。また、公園遊びの行先や自由時間の過ごし方について、こどもたちの意見を反映させた内容を取り入れることを心掛けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加し、PARK利用時のこどもの様子、支援時の配慮や、環境設定等についてお伝えし、また、他機関での様子について伺い情報共有を行いながら、今後の支援に反映させるように心がけております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご家庭からのニーズに合わせて、医療機関受診の際にPARKでのこどもの様子をまとめてお伝えさせていただき、学校での教育相談等に児童発達支援管理責任者が同席させていただき等を行っております。	今後も、必要に合わせて対応できる体制を整えてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	利用開始の際には、学校（学級担任）へご挨拶をし、送迎に係る情報共有の連絡調整を行っております。また、保護者を通じて月ごとの下校時刻や行事について確認し、毎日行う始業ミーティングの中で送迎担当者、添乗員と送迎時の安全に対する周知や緊急時の対応方法についての確認も行ってまいります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		今年度は該当児童がおりませんでした。今後は就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等に情報提供を依頼し、こどもや保護者が安心して利用できる環境を整えられるよう、取り組んでいきたいと考えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%		現在まで学校を卒業する学年のこどもは在籍しておりませんが、今後、卒業時には他関係機関、障害福祉サービス事業所への「支援移行会議」を積極的に働きかけ支援内容のスムーズな移行を心がけたいと考えております。また、円滑な移行が行えるよう、相談支援事業所との連携を強化してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		研修機会への参加がしやすくなるよう、内容の周知や勤務体制を調整していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	学校休校日に行っている公園遊びの際に地域のこどもたちと交流することができています。順番を待つことや譲り合うことなど、ルールについて明確に提示しながら、今後も遊びの共有を行えるような活動について提案していきたいと考えております。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	障害福祉課主催の放課後等デイサービス事業所連絡会には児童発達支援管理責任者が積極的に参加しております。研修の受講や、他事業所との交流を行い、参加した内容について全職員に周知することで、地域情勢の把握や健全な運営に必要な倫理綱領・行動規範等について理解を深めております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳を活用し、日々の過ごし様子や取り組み内容、子ども同士の関わりについて、保護者へ丁寧にお伝えしております。また、ご家庭の様子等についても伺うことで、子どものご家庭での近況や発達の状況、課題についての理解を深められるよう、心がけております。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	75%	定期的な保護者面談を通して、PARKでの声掛けの方法や環境設定などをお伝えし、参考にしていただきながら、無理のない範囲でご家庭でも取り入れていただけるような取り組みを行っております。	現在、家族等が参加できる研修の機会等は設けられていないため、実施について検討してまいります。具体的には家族支援加算IIの導入を検討しております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学時及び契約時に、該当書類の読み合わせを行いながら丁寧な説明を心がけております。また、重要事項について事業所内に掲示することで来所時に確認していただけるようにしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	利用開始前の見学時や契約時に本人や保護者の方のニーズを伺い、それに基づいた支援を検討しております。また、定期面談時に新たなニーズを把握させていただき、こどもの今の状況に合った支援を提供できるよう、心掛けております。	今後、定期面談時にはお子さまの参加を推奨し、お子さま自身に課題や目標について理解してもらいながら、より意義のある支援の提供を目指してまいります。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期面談前には個別支援計画（案）を保護者へお渡しし、要望等について伺っております。それらを基に職員間で担当者会議を行った上で作成した個別支援計画について、面談時に説明を行い、同意いただいた上で、署名・捺印をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的に保護者面談を実施し、保護者から困り事、悩み等のお話を伺っております。それ以外にも心配事等があれば随時相談の場を設けております。また、緊急な場合につきましては、お電話にて対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		アンケート結果を踏まえ、保護者会等の形にこだわらず、保護者やきょうだい参加型のイベント等を企画し、任意で参加できるような場の設定について検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理者が受付窓口となり、迅速かつ適切に対応するよう心がけております。また、内容につきましては、細かく記録をとり、全職員で事項に対し協議、共有し、徹底した対応を行うことで再発防止に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	現在は、月初に活動予定表、主に行事毎にPARK通信を発行しております。今後、SNS等を活用し、日々の活動の様子についても発信していければと考えております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報保護マニュアルに則り、個人情報が含まれた書類を鍵付きの書庫に保管することや、子どもの持ち物等の管理を職員で役割分担して行うこと等、適切な管理に努めております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	1人ひとりの特徴を捉えた視覚表示等を用いることで子どもが受け取りやすく理解しやすいような関わりを行い、意思疎通の獲得を心がけております。また、保護者に対しても視覚表示ツールの内容をお伝えすることで共通認識のもと、子どもたちがどの場面においても困ることなく安心して表現できるような配慮に努めております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		今後、PARKで行う避難訓練等に参加のご協力を依頼するなど、地域に対する開かれた事業所運営を意識した取り組みを検討していきたいと考えております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを策定し、職員に対してはマニュアルの周知だけでなく、各対応時の捉え方、考え方、動き方を目的とした研修を年間計画に沿って定期的実施しております。保護者の方に対して、契約時にマニュアルの策定や研修の実施についてご説明しており、事業所内に閲覧ファイルを設置し、来所時にご確認いただけるようにしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	毎年5月と11月に利用時の地震・火災を想定した避難訓練を実施、記録を行い、管轄の消防署へ報告しております。訓練実施に合わせて研修を実施し、職員それぞれが役割を認識し、非常時に持ち出すもの点検等を実施しております。今後も定期的実施すると共に、消防署へ協力を依頼する等、内容についても工夫し、災害発生時に落ち着いて行動できるよう、訓練を行っていきます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用開始前に既往歴や服薬、発作が起きた際の対応について保護者に記入いただいた書面をもとに対面にて確認を行っております。定期面談時に服薬変更や緊急時の対応について変更がないか確認を行い、内容について職員全体で共有しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	現在、食物除去を必要とする子どもは在籍しておりませんが、軽度のアレルギーのある子どもについては、定期的に保護者と確認を行い、おやつ等の提供内容に細心の注意を払っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	毎年3月に次年度の安全計画を作成し、職員に周知しております。計画に沿って、「緊急時対応」「不審者対応」「事故対応」等の項目に合わせた研修を計画的に実施しております。また、日常的に施設内点検を行い、子どもたちが安全に過ごせる環境設定を行っております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	緊急時の対応について契約時に説明を行い、緊急連絡先について変更がないか面談を活用して定期的に確認を行っております。安全計画については事業所内に閲覧ファイルを設置しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成するだけでなく、事例が発生してしまった際にはその都度、全職員による背景の把握や原因の究明について振り返り、対応策を協議、共有することにより再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会にて研修内容を検討した上で、虐待防止マニュアルや自己チェックシートを基に、定期的に研修を実施しております。動画資料等を活用し、虐待を身近に感じることができ、かつ、日々の支援に即した内容を取り入れられるよう、対応しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	やむを得ず身体拘束を行う緊急性、必要性が生じる可能性を有する子どもの保護者に対しては事前に十分な説明のもと了解を得た上で個別支援計画に記載いたします。また安全確保のための身体拘束を必要とする事項が発生した場合、マニュアルに沿って（記録を含め）適切に対応しております。		